

**取組と目標に対する自己評価シート**  
**高齢者の自立支援、介護予防又は重度化防止に関する取組と目標**

年度	令和4年度
----	-------

**前期（中間見直し）**

<b>実施内容</b>
-------------

- ・ アクション90（第2層）開催数：11回
- ・ 認知症初期集中支援事業：支援会議 3回
- ・ 孫世代のための認知症講座（延人）：2回、参加者数 121人
- ・ 介護家族リフレッシュ教室（延人）：6回、参加者数 37人（うち18人ボランティア）

<b>自己評価結果【○】</b>
------------------

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、短縮した事業はあったが、感染対策を取り概ね計画通りの事業実施に努めた。

- ・ 生活支援体制整備事業においてアクション90（第2層）を11回実施し、地域に必要な助け合いについての話し合いや、事業の進捗報告、中学生による「声かけ・見守り」を広げる標語コンクール投票などを行った。
- ・ 認知症初期集中支援事業は、月1回の支援会議を設けているが、随時電話にて相談しており、参集しての会議開催はその月によって判断している。
- ・ 孫世代のための認知症講座は小学校1校、中学校1校で実施。これまでは県が取りまとめて医大に講師調整を行っていたが、感染拡大に伴い医大からの派遣が困難となったため、包括職員で対応。
- ・ 介護家族リフレッシュ教室では、介護者が固定化している傾向はあるが、認知症サポーターがボランティアとして参加しており、介護者の交流の機会になっている。認知症カフェとしても位置付けているが、認知症の方の参加はない。

<b>課題と対応策</b>
---------------

- ・ アクション90（第2層）は参加する住民から意見を聞きながら開催調整をしている。感染状況により集まることを控えた場合でも戸別訪問等で対応する。
- ・ 認知症初期集中支援事業は医療機関の体制にもよるため、支援会議は状況に応じて調整する。
- ・ 認知症サポーター養成講座、介護リフレッシュ教室等は感染対策を取りながら実施する予定だが、感染拡大の際は、公共施設が使用禁止になることもあるので、その都度対応する。

**後期（実績評価）**

<b>実施内容</b>
-------------

- ・ アクション90（第2層）開催数：15回
- ・ アクション90（第1層）開催数：1回
- ・ 認知症初期集中支援事業：支援会議 3回
- ・ 孫世代のための認知症講座（延人）：2回、参加者数 121人
- ・ 介護家族リフレッシュ教室（延人）：12回、参加者数 78人（うちボランティア36人）

<b>自己評価結果【◎】</b>
------------------

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、短縮した事業はあったが、感染対策を取り概ね計画通りの事業実施に努めた。

- ・ 生活支援体制整備事業においてアクション90（第2層）を各地区で実施し、地域に必要な助け合いについての話し合いや、事業の進捗報告、中学生による「声かけ・見守り」を広げる標語コンクール投票などを行った。
- ・ 認知症初期集中支援事業は、月1回の支援会議を設けているが、随時電話にて相談しており、参集しての会議開催はその月によって判断している。

- ・ 孫世代のための認知症講座は小学校1校、中学校1校で実施。これまでは県が取りまとめて医大に講師調整を行っていたが、感染拡大に伴い医大からの派遣が困難となったため、包括職員で対応。
- ・ 介護家族リフレッシュ教室では、介護者が固定化している傾向はあるが、認知症サポーターがボランティアとして参加しており、介護者の交流の機会になっている。認知症カフェとしても位置付けているが、認知症の方の参加はない。

### 課題と対応策

- ・ アクション90（第2層）は参加する住民から意見を聞きながら開催調整をしている。感染状況により集まることを控えた場合でも戸別訪問等で対応する。
- ・ 認知症初期集中支援事業は医療機関の体制にもよるため、支援会議は状況に応じて調整する。
- ・ 認知症サポーター養成講座、介護リフレッシュ教室等は感染対策を取りながら今後も実施する。

取組と目標に対する自己評価シート  
高齢者の自立支援、介護予防又は重度化防止に関する取組と目標

年度	令和4年度
----	-------

前期（中間見直し）

実施内容	
<ul style="list-style-type: none"><li>・通所型サービスA 実66人、延352人</li><li>・訪問型サービスC 実3人、延8人</li><li>・通所型介護予防教室 実11人、延52人</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・介護予防地区自主活動団体数 17団体</li><li>・介護予防ボランティア活動者数 実88人</li><li>・地域リハビリテーション活動支援 10団体</li></ul>
自己評価結果【○】	
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、一部事業を縮小して実施しているが、概ね計画通りに実施している。	
課題と対応策	
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、住民主体の通いの場では一部活動を自粛している団体もあるが、感染対策等について健康教育を実施し活動の継続支援を行っている。	

後期（実績評価）

実施内容	
<ul style="list-style-type: none"><li>・通所型サービスA 実79人、延742人</li><li>・訪問型サービスC 実5人、延11人</li><li>・通所型介護予防教室 実32人、延180人</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・介護予防地区自主活動団体数 17団体</li><li>・介護予防ボランティア活動者数 実88人</li><li>・地域リハビリテーション活動支援 18団体</li></ul>
自己評価結果【○】	
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、一部事業を縮小して実施しており、参加者数は計画値と比較すると少ない状況ではあるが、感染対策を講じて概ね計画通りに各種事業を実施した。	
課題と対応策	
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、住民主体の通いの場では一部活動を自粛した団体もあったが、今後も安心して通いの場へ参加できるよう感染対策について健康教育等を実施し、活動の継続支援を行っていく。	

取組と目標に対する自己評価シート  
介護給付の適正化に関する取組と目標

年度 令和4年度

前期（中間見直し）

実施内容

- ①要介護認定の適正化
  - ・認定調査内容の点検を継続実施
- ②ケアプランの点検
  - ・点検を実施中
- ③住宅改修・福祉用具購入・貸与調査
  - ・それぞれの点検を継続実施
- ④介護給付費通知
  - ・前期に通知を1回実施
  - ・後期にも通知を1回実施予定であり目標値の達成を図る
- ⑤縦覧点検・医療情報との突合
  - ・点検を継続実施

自己評価結果【○】

概ね計画通り実施できている。

課題と対応策

計画に沿って取り組んでいるが、本取組に基づくより適正な介護保険事業の運用となるよう体制づくりを検討していく必要がある。

後期（実績評価）

実施内容

令和4年度実績

- ①要介護認定の適正化
  - ・認定調査内容の点検 実施率100%（目標100%）
- ②ケアプランの点検
  - ・実施率0.60% 実施件数38件／受給者延べ数6,332件（目標0.66%）
- ③住宅改修・福祉用具購入・貸与調査
  - ・住宅改修工事前後施工状況確認16.7% 現地確認実施5件／申請総数30件（目標10.7%）
  - ・福祉用具購入調査実施率100%（目標100%）
  - ・福祉用具貸与調査実施率3.6% 実施件数148件／給付延べ件数4,056件（目標1.8%）
- ④介護給付費通知
  - ・実施回数2回 前・後期各1回（目標2回）
- ⑤縦覧点検・医療情報との突合
  - ・実施率100%（目標100%）

自己評価結果【◎】

目標を達成できた。

## 課題と対応策

ケアプラン点検が目標を下回ったが、令和5年度は、全ての取組で目標値達成に努めると共に、悉皆点検をしているものはそのまま維持し、適正な介護保険事業の運用に努める。